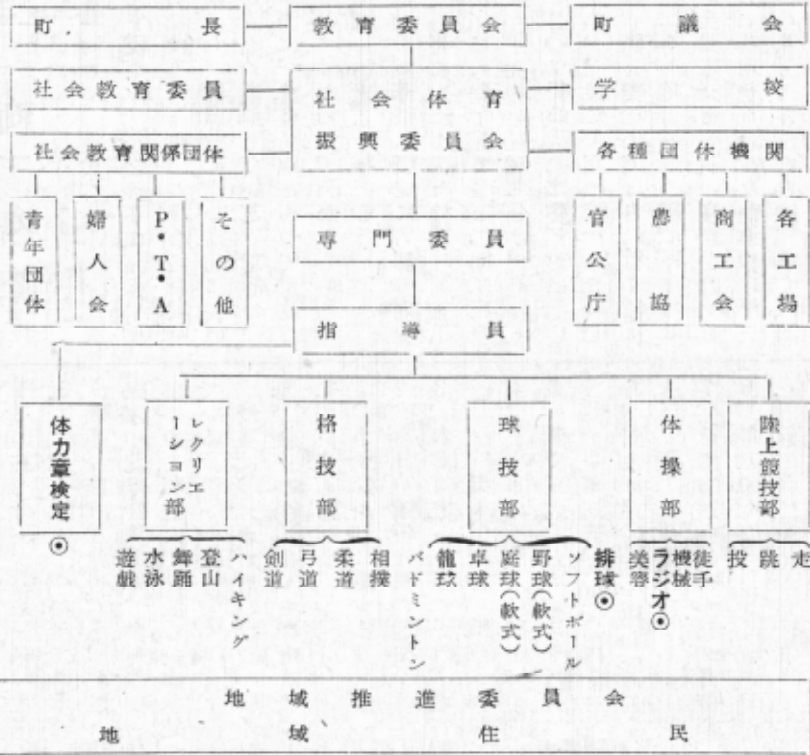


幸田町社会体育運営機構



第52号
 発行所
 愛知縣額田郡幸田町中央公民館
 印刷所
 岡崎活版所

社会体育

実施内容

実施	運営	発達
生活に即応し常時実行 徳性を日常生活に活用	企画速大、重点的実施 地域の実情考慮	組織・機構の整備拡充 指導員の充実強化 施設用具の整備活用 学校体育と緊密連繫

●指導方針

日常生活に融合して、日々実践すること、重点をおき、体育会、競技会等も平常の練習の一環として行うよう指導奨励して習慣づけ、身心の健康と鍛錬に力める。

- 1、体育運動団体の育成強化
- 2、運動会、体育大会等の開催
- 3、体力章検定の実施
- 4、体操及び各種スポーツの指導
- 5、健民慰養の指導
- 6、健民生活の啓蒙指導
- 7、体育強調週間の設定
- 8、体育常会の開催指導
- 9、体育施設の整備拡充
- 10、その他

●女子体育の奨励

女子の社会的使命は、益々重要性を増すから、今までのように男子中心の体育を改めて、女子体育の普及奨励を図るため、女子指導者の育成、体育運動団体、クラブ等に女子部を設置し、女子のための体育大会、競技会の開催、女子特有の施設を整備する等、女子体育の振興を企図して将来に備へることが望ましい。

●社会体育の運営目標

青空に日の丸を仰いで、明るい、健やかな社会体育レクリエーションを、全町住民一円融合して、楽しく体育会や文化祭の行事を通して、慰親の裡に、文化の香り豊かな郷土「明朗幸田」の理想郷の顕現に協力する。

●体力章検定の実施

体力章検定は、青少年に自己の体力を反省させる機会を与え之を機会としてスポーツに対し興味を喚起すると共に、他面検定成績の統計は、国民体力の現状並びに傾向を知る資料ともなるので、年令、性別、種目方法等とよく土地の実情に適應するよう研究し実施する。



商工視察

幸田班一

先ず視察の対象を当町に適當する山村に躍進する東三の中心地新城町を選んだ。飯田線に沿ひ南北に長い地形も全く酷似している。丁形の本道路は、非戦災地とあつて家並こそ平凡ではあるが、何かしら落ちついた懐しい感じを与える。

駅前繁華街は軒並に店舗の列を見、小路に入れば花街で道路舗装の一期工事も完了して目下二期工事中と聞く。全町を五区に分け、そのトツきつて銀座街には防犯灯に揃いのネオン、將に山間の都市を思わせる近代調と美化に実現され行く様は偏に全町協力一致の賜に外ならぬ商工会員も五百余名の多きを数へることこそ町当局の少なからぬ理解と声援の裏付であることは、申すに及ばざる次第である。

ではこの辺で現況を基に評価して見ましよう。別段これはという程の特産物もないが、薪炭は勿論、素材の産地を後に控え、素材を用材加工に唯一の関門として、又檜洲、鳳来寺、湯谷等を背景に観光地として四

季を通じ外来客の吸収策を講じ、加うるに高等学校。那是製糸の所在により文化、蚕業の中心地である。販路は南設を始め八名、北設と東三河の北半を地盤に、中部豊橋、南都田原と相並んで仲展の一途を辿つてゐる。

最後に、ネオン灯の設置の経過を商工会長の語るまゝを参考までに記して見ました。

- 1、ネオン点灯に関する役員会
- 2、ネオン設置役員を選定
- 3、役員視察(三班に分れ、名古屋岡崎、蒲郡、浜松(数回))
- 4、工事請負承接(見積等)
- 5、設置基數まとめ(八十八基) 一基二三、〇〇〇円
- 6、資金調達(東海、協和銀行借入) 町より補助金あり
- 7、返済方法 日掛十三ヶ月償還
- 8、竣功点灯

(二月上旬〜四月一日)

商業視察 深溝班

五月二十七日我々一行は省営バス岡多線に乗る。途中二ヶ所の徒歩連絡に春の陽光を満喫する。やがて陶都瀬戸の町である。煙々として全くほこりつばい。道路は美しくない、

建築も余り清潔では無い。第一商店の裝飾が区々として統一の無いこと余り感心した町ではない。

市役所の商工課に赴く。早速所員が色々と話して呉れる。あくまで話をして呉れるのであつて、内容は雑談に過ぎない。実に瀬戸は瀬戸物の町である。瀬戸物に生き、瀬戸物に死ぬ町である。徹底的に瀬戸物の町である。

市役所員の雑談は続く、瀬戸物の輸出と内需の両立しない悩み、米國あたりの好みの変遷に追ひ切れぬ苦しみを恰もよそ事の様話を続ける。市内の小売商況を尋ねると熱の入らぬこと全く驚くばかり、売出しなると市内数個の発展会で適當にやつていますよ、抽せんとか景品なども適當にやつていますよ、と。全く聞く方が無理になつてくる。商人間の横の連絡は殆んど零に近いらしい。縦のつながりすら、手形の長期化から生ずる金融の悪化から生じる怨嗟の聲、それも恨声とも聞え、罵声とも聞える。一行たゞ撫然たるのみ。

次に上質磁器の製造所を市役所よりの紹介で見学する。これは流石、いゝ勉強になる。市内見学は瀬戸物の小売価格の廉

い(あたりまえだ)のに比べて他の物価の高いのに驚くのみだ。市内の裝飾は雑然、ネオン等も市としては余りにも貧弱、あくまでも瀬戸物の町であつて我々の参考とするものが少ないと思ふ一方からこれではならぬと反省することが既に大きな勉強になる。決してこの視察は冗でないかと考へられる。

尾張商人との取引は後までこわい。とことんまで個人主義の彼等は引つけてくるという。個人々々の熱心さに比べて協同精神の欠除は我々の反省の資となれ、決して参考としてはならない、こんなことを考へ、つゝ、次の高蔵寺に行く。矢張り此処も独り／＼は実に熱心である。併し町の美化とか統一とかに對しては余り熱心でないことに呆れる。我々は参考は余り見付なかつた、が良いい勉強になつたと帰路に話はずんだ。

現金賣買

- 値段は公定 払いは現金
- 払え現金 残すな苦勞
- 現金ならこそ この品この値
- 現金買ひにむだ買なし
- 現金売買 相互の利益
- 旗は日の丸 物は現金
- 何時も朗らか 現金払い
- 掛で買わねば 苦にならぬ
- 現金は買ひよし 売よし 氣持よし
- 現金で売るも 國策買うも得策

今年の天候と稲作

昨年は稲作にとつて誠に障害の多い年であつた。即ち六月中旬から七月下旬にかけての天候不良の為、例年殆どイモチ病の発生をみない地帯に於ても葉イモチ病がまんえんし、これを防除しほつとしたのも東の開八月下旬から九月上旬にかけての不順の天候と九月下旬の台風により各地に首イモチ病の甚だしい被害をこらむつた。昔から凶作は二年続くと云われ、更に昨年の秋以来、ずつと不順な天候が続いているので、ことしも、再び凶作に見舞われるのではないかと云ふ不安な気持を持つてゐる人も多いと思ひます。そこでこの程発表された夏から秋にかけての天候予想にもとづいてことしの天候と稲作に就いて考へて見ましよう。

七月

六月の中旬頃より気温が低く稲の生育悪くイモチ病も発生し作柄に悪い影響もありましたが、七月の梅雨あけは例年よりやゝ早目で上旬末にあけ、月末まで気温高く、日照は多めの、順調な天候になりそうです。七月は稲の分けつ期にあたり、生育のさかんな時期だから、用水の不足

の無い限り雨が少く、日照の多いことが望まれ、その点今年の予想ではこの月の天候は一昨年、昨年よりも良いのですが、月半ば、月末からところんぐに大雨が降りそうです。

八月

この月は稲の穂を作り始める時期で昨年は上、中旬の天候は順調であつたが下旬から九月にかけて不順な天候の為稲に致命的な打撃を与えたわけです。予想では上旬から中旬にかけて低目の気温である為とくに警戒する必要があります。

九月

ことしは早冷の心配があり、とくに月半以後は低温で本県では雨の日が多い様です。この時期は稲の成熟に入る時期である為、天気の良いことが望ましく、気温が低いと成熟に障害を受けて作柄が悪くなります。その点今年の天候はあまりよくないので、やゝ心配されますが、月末から十月にかけては、天候が安定してよい天気が続くと思はれてゐるから、たとへ成熟が遅れたとしても、十月から、とり返すと見られます。

つまり今年の天候は昨年程でもな

いが例年に比べて稲々不良との予報がなされているので、その対策には次の事項に重点をおいて頂きたい。

一、窒素、質肥料を適量施用する事

(耕土一寸につき硫酸換算で一貫八百匁位に抑えておく)

二、加里、肥料を多く施すこと

(分施をして反当五貫施用)

三、中干により、稲の根の衰を防ぐ

(中生種で七月下旬から八月月上旬に晩生種は八月月上旬頃一、二週間位落水する。)

四、稲熱病を早期に防除する

(本年の気象予想より見れば首稲熱病の大発生が懸念されるので出穂直前と穂の出揃期には必ず水銀粉剤を撒布し昨年の如き被害を繰返さぬ様にする。)

後記

今年の天候が充分とは云われぬが又昨年の苦々しい経験を顧みても今に於いてこれが対策は重要な事と思はれる。昨年の様な稲作にとつて障害の多い年でも隣接した所で著しい生育の差異がみられた、これは栽培法の巧拙が大に關与している事であり、かゝる被害を再び繰返さぬ様反省する事も必要である。

七月の養蚕だより

この月の蚕は、片照り、片降りの気候に見舞われて、兎角不作を招き易

いものです。臨機の処置を怠らず、農作への道を進みましよう。

◎日照不足の場合

(1) 蚕(一—三令)の桑は、日当り風通し、共に良く、堆肥が入れてあつて排水の良い畑から取る

(2) 桑の品種は、改良鼠返、一の瀬大葉早生の中から成熟の早いものを選ぶ。

(3) 全芽育成の処理は、早目に十分枝条を開引したものに付行う。

(4) 給桑は一回の量を少くし、夫れだけ回数で補うようにする。

(5) 各令共飼食は早目に行うことが安全で、三令以後は換気通風を図る。

(6) 除沙分箔の回数を増し、蚕座に焼燐、糠糠、石灰等の使用を増す。

◎早越の場合

(1) 稚蚕(一—三令)の桑は、堆肥の十分にに入れてある桑園から取る。

(2) 桑の品種は、一の瀬、改良鼠返のような萎凋の遅いものから使う。

(3) 全芽は、伸長のよい稍軟目のものを、摘葉は軟目の葉を必ず混葉摘する。

(4) 壯蚕期(四—五令)の日中は、給桑後軽く清水に噴霧する。

(5) 各令共飼食は早目にして、給桑の回数は増すようにする。

(6) 一時に多量の摘桑をせず、できる限り貯桑は短時間に且完全に

(7) 稚蚕用桑園は刈草、藁等で圃地を被覆することが望ましい。

社会体育シリーズ(1) 「バドミントン」とは

一、起源

一八四七年頃印度で起つたもので河の兩岸から小鳥が盛んに渡り合うのを見て異常な興味を覚えてヒントを得、種々考案の結果でき上つたもので、印度語でラク(雲雀)英語でインデアンゲームといつて、球に羽子をつけて投げ合つたものではないかと想像される。

二、変遷

一八七三年、英陸軍将校がバドミントン村に往むビーフオード卿に伝え研究されスポーツ化した。次いで国際バドミントン協会が誕生し村の名に因んでバドミントンと命名すると同時に競技規則を制定した。

三、発達

発祥国英国は勿論盛んであるが、一九〇〇年米國に伝わり現在ではお株は米國に奪われた形で、世界的名プレーヤーを生んでいる。南洋諸國間でもよく普及し、タイでは国技とされている等は特筆すべきであり、中國上海でも国際競技大会が毎年開かれ、インドネシアの開化はバドミントンを親んだスポーツ精神によるという。特に日本人に好意的で至る処

日本製ラケットが愛用されていることは未だバドミントンを初耳にされる方には驚歎の余りであろう。

四、渡来

日本には昭和五年頃横浜神戸に住む米人によつて伝えられ一時流行し始めたが戦争により中絶した。戦後米軍の駐留と共に再び脚光を浴び、二十一年に日本バドミントン協会が設立され、二十六年の国民体育大会の正式種目にも登場する程の発展をなしている。

五、将来

バドミントンを軽視する向もあるが、青年紳士競技である一方老幼男女団結的なレクリエーションスポーツとしても好適である。昔から羽子板に親んでいるわが国民は、特有のつなかりを示しているので将来国際進出の日も遠いことではないであろう。

六、方法

軽いラケットを使用し、羽球(シヤトルコック)を打ち合うゲームで、球を使う卓球、庭球等と異り、羽球のスピードの変化も多く、プレーヤーの技術により種々の飛ばし方ができてその変化には驚かされる。高さ五呎のネットを境として各々

長さ二十二呎、幅二十呎のコート内でゲームを行い、羽球が床に落ちる前に打返すと同時に相手に打ち難いように打つので、上からたたくスマッシュ、高く上るクリヤー、特有のネットプレー、羽根の飛び方の特長を利用したドロップショットといったように、頭と技術の相まつたプレーが展開される。

庭球同様シングルスとダブルスとあり、一試合は三セットのゲームを行い、二セット取つた方が勝ち。セットは十五点先取した方が勝者となり、リシーブ側は勝つてもならずサーブする権利が得られる。ジュニアの時はセッティングといふ十五点ゲームの時は十三点オールになつた時先に十三点に達した方が後五点ゲームにするか、又は十四点オールになつた時先の方が、後三点ゲームにするかを選択することができる。その要求がない時は規定通り十五点で終る。失点となる場合は次の通り。

- 1サーブミス、リシーブの時はラインを踏んだり、またいだ時。
 - 2サーブミスが腰より高い位置で打たれた時。
 - 3サーブミスが相手のサーブミス、コート内に入らなかつた時。
 - 4リシーブの時両脚が床から離れ飛び上つたりコート外に出た時。
 - 5プレーの最中相手のコート内に入らなかつた時。
 - 6ラケットがネットを越して羽球を打つたり、進行中にラケットや身体がネットにふれた時。
 - 7羽球が二度打たれた時。
 - 8ラケットの木部でうつた時。
 - 9その他相手を妨害した時。
- 試合開始に両サイドがトスをを行い勝者がサーブかエンドを選ぶ。

◆みんな若い

(青年学級のために)

- 春の野山を あなたと歩けば 陽炎ユラユラ 緑がもえてる ラララ みんな若い ラララ
- 夏の水辺を あなたと歩けば 涼風ソヨソヨ 頬をなでていく ラララ みんな若い ラララ
- 秋の深山を あなたと歩けば 紅葉がチラチラ 小鳥とまつてる ラララ みんな若い ラララ
- 冬の故里 あなたと歩けば 木枯なつかし 思い出はつきない ラララ みんな若い ラララ
- 集いの婦りを あなたと歩けば 心はウキウキ 希望にもえてる ラララ みんな若い ラララ

郷土史料

(その四十五)

俚諺

志賀又郎

一、草取歌

○五月田植えてやれうれしやと、思
うまもなくおこし草。
○畑の草より田の草がよい、水の中
でも手がしまる。
○今年始めて田の草とれば、後に小
草が皆のこる。
○今年は豊年五穀をつんで、家内笑
顔で暮しましょう。
○今年しや豊年ばにほがさいて、道
の小草も米がなる。
○わしとお前はお倉の米よ、やがて
穂に出てまゝとなる。
○植えて育てて田の草とれど稲に穂
が出やわしも出る。
○蝶よ花よとこがれた様も、今は秋
田の落し水。
○歌も出ません横日がさして、若い
衆のようなまねできん。
○暑や悲しや六月日照り、水が湯に
湧く田の中で。
○今日の田の草ひるもやなぎや、と
のごやつしの瓜皮や。
○水の流れと身の行く末は、どこの
いづこではてるやら。

○島田髪見りや、ありやそだそだと
外に島田はないように。
○どんどどんと鳴る雷は、ここは
桑原おちやせまい。
○北の夕立ちや七日でござる、戌亥
夕立ちや夢の間に。
○暑やかなしや田の草とるも、先の
ためじやと思やこそ。
○お伊勢七度熊野へ八度、お多賀様
へは月参り。
○すやりすやりと夏吹く風は、あけ
て入れたい主のねま。
○土用なかばに秋風立てば、様の心
もそよそよと。
○松になりたや並木の松に、尾張大
納言を下に見る。
○草取り歌には雑をつけることがある
雑は思い思いでよい。その一例を示
せば、左のとおり
「歌は下手でも泣くよりやました
ヤレナー」

◆豊坂村とは

今度合併の隣村豊坂村は、幡豆郡
の東北端、幸田町の西に位し、地形
南北に長く、東西に多岐、南に高く
東北に低い。五分の三は山で、耕地
は五分の二に及ばない幡豆郡唯一の
山村である。東西六軒、南北七軒、
面積二〇・〇二平方軒、大字数七、戸

数七二八戸、人口三、七五一
口碑によると、今から凡そ一、八
七〇年の昔、景行天皇の御代、日本
武尊御東征の帰途、一軍將建蘇美命
が須美を永住の地と定め、一族と共
に開拓したに始まる。爾来、山高く
水清き自然の眺め美しきに守られ、
交通には恵まれないが、質朴精勵よ
く和衷協同して村治甚だ円満、稀に
見るの平和の山境である。
本町との関係は古来より交渉頗る
繁く、慶長の頃までは額田郡に属し
ていた。伝説お機火にもある如く、
昔から縁組も相当あり、明治四十年
四月豊坂小学校に高等科併置される
までは、皆本町幸田小学校の高等科
へ四軒の道を遠しとせず通学された
ものです。郵便、電信、電話もまた
幸田郵便局区内であり、幸田駅が唯
一の支関であること等も皆同じで、
今回の合併も少しの無理もなくスム
ーズに行われるのも決して偶然では
ない。

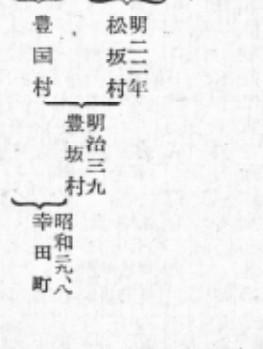
村の交

南永井	三五石	六升	山永井	明治八年
野場	二〇石	八升	野崎村	永野村
嵩美	二〇石	七升	須美村	野崎村
六栗	五〇石	三升	上栗村	六栗村
切山	一七石	合升	上栗村	六栗村
逆川	一〇石	三升	逆川村	豊坂村

四極	東 徑 一三度	二分二秒
	西 徑 一三度	四分二秒
	北 緯 高度	四分二秒
	南 緯 高度	三分四秒
三南八景	竹谷の夜雨(塩津)	松原の晴嵐(蒲郡)
	養師の晩鐘(深溝)	亀岩の秋月(塩津)
	菱湖の夕照(幸田)	拾石の帰帆(塩津)
	寒峯の暮雪(深溝)	池田の落雁(深溝)

一割運動
—大阪貿易協会提唱—
公 夜の宴会(麻雀)廃止
公 議員歳費 一割返上
私 主人小遣 一割節約
私 一割貯蓄
公 電気・ガス無駄廃止
公 集会の酒食をあまさぬ
公 舶来品の自肅
私 酒・煙草等一級方下等品
私 咀嚼増進と粉食増加によ
り米の節約
公 集会の開閉時刻の予定と
公 奨励
私 一割勤労増加

時 物 金



青少年を守ろう

— 恐るべきヒロポンから —

△△△親の注意が第一△△△ 私たちは、毎日の新聞にヒロポンの記事を見ない日は殆んどないといつてもよい程、よく見られている。

それ程にヒロポンは、世の注目を大きくあびている。では、ヒロポンとは一体どんなものであろうか。？ ヒロポンが普及したのは、第二次世界大戦の最中で、戦争が烈しくなるにつれ、身体を酷使するために、特攻隊員が盛んに使用したとのことである。戦は悲惨な終末をつげたが、覚醒剤は姿を消すどころか、却つて民間に拡がり、その毒害を流して来たのである。

初めて、ヒロポンを使った時は、身体が軽くなつたように、気分がよくなり、歌でも唄つてみたいように気が大きくなるらしい。頭がはつきりするので、試験勉強に学生が盛んに愛用するそうだ。

これが、いつの間にか習慣となり次第に中毒症状に入つていく。薬がきれると頭痛、めまいが起り、何か不安感におそわれるようになる。これから逃れようとしてヒロポンを打つ。こうして使用量をどんどん増さ

ないと効き目がなくなつてくる。遂に極度の中毒症状が現れ、被害妄想自覚妄想等が生じて、はては良心や道徳のマヒが起り、覚せい剤を入手するためには、如何なる手段も厭わないという恐るべき精神状態となり恐喝、かつばらい、傷害と次第に悪者の殆んど辿る道である。

このように覚せい剤は、青少年の不良化、犯罪化の大きな原因となつているので、こうした悪影響から青少年を守り、健全な育成を図ることは、公の機関は勿論、世の親たちの責務でもある。

薬事監視員や警察官だけに任せておくべきではなく、私たちが日常生活を通じ絶えず見守ることが大切である。青少年をもつ親は勿論、すべての成人が考えなければならぬ問題である。

青少年自身も、大いに自覚して、強健な身体と、正しく豊かな精神を伸ばすために、悪魔の誘惑を斥け、積極的な自己修養に務められたい。

お茶の話 露子

お茶と生活、日本人にとつて、これ程融け合つたものも珍らしい。お

客に先づ粗茶一杯、休息に抹茶を一杯、一家団らんには番茶をと、お茶は四六時中、日本人の生活の中にあるあの馥郁とした新茶の香りと味、もはやそれは、我々の嗜好や趣味、風習をのり越えて生命の一部分とさえ感じられる。

ところが、案外このお茶についての常識が少いのに驚かされる。いよいよ新茶も出揃つた今日、一応の常識を備えておくこともまた近代的文化人の教養というもの……

製法によつて、紅茶(酵醗茶)と緑茶(不酵醗茶)に分けられる。緑茶には次のような種類がある。

○玉露 発芽前、陽光を遮る。

○碾茶(抹茶) つた葉を原料とする。

○煎茶 若い葉をむしつて作る。

○番茶 硬化した葉でつくる。

○焙じ茶 茎、硬茶を焙じて作る。栄養分と効能。

○茶素(カフェン) 中枢神経の興奮、強心、利尿の作用があり、頭を爽快にする。

○単仁(タンニン) 茶の滋味で、殺菌、防腐、収斂作用をし、疲労回復、内臓消毒、皮膚をなめらかにする。

○葉緑素(クロロフィル) 血色を増し、化膿性の外傷や皮膚病を速くにおす。また皮膚を清潔にするので特に婦人の化粧品材料にされるようになった。

○ビタミンA、B、C 人体成長に大きなはたらきあり。

○蛋白質、アミノ酸 良品程多く含まれている。

俗に「宵越しの茶を飲むな」というのは、蛋白が腐敗して中毒を起すからである。

「お茶を美味しく頂くには」

○お茶の量を少し多く。

○急須は陶磁器がよい。

○湯加減が大事、お茶により異なる。

○注ぐ時急須の最後の一滴まで出す。

○二煎目迄とし、出し殻は捨てる。

○水は軟質のものをえらぶ。

貯金は天引にかぎりませす。ご主人にはソーツと内緒で二年後

「どう、あたしお金持でしょ」 「僕にかくしてけしからん」

なんて、おつしやつても、まさか本気でお怒りになるような、やばなご主人はないでしょう。

「積立貯金けなげな妻の隠し芸」 積木のよかに楽しい貯金

一ちよつとお耳を

幸田郵便局

六十年

山火事を出さぬ村

去る四月十日農林省林業モデル指定、郷土をよくする会、全村報徳の発会式を催した静岡県磐田郡敷地村は、六十年前からの報徳村で、東西二十町、南北三里の帯のような細長い農山村で、その八割七分、約一千町歩の山林原野を持つている。隣村では山火事がよく起るが、本村では株山を経営して六十余年を経たが一度も火事を出したことはない。そこには、山廻りの番帳が年中各戸を廻っている。

役場から三里もある本宮山(極高四四五米)の頂上小国神社の奥の院の社務所の戸袋に馬草山の箱が置いてあり、その中に鉛筆とノートが入れてある。番帳が廻つてくると二人宛年中山の警戒火の用心のために、こゝまで登り箱の中のノートに勤務日誌を書いてくる。

この行事は三代も前から継続されているが、この慣習は村民をして、知らず知らずの間に協同親睦の精神を培うことになつて非常に和やかな村である。入会権のない人まで、村山の大事さと人情で参加している。それは馬草山収益が、有権者のみならず全般的に公益事業に使われる思恵が無意識の中に通うのであろう。

防犯標語

- 自警の町に 輝く平和
- 暗い犯罪 明るく防げ
- 見たか戸締り 締めたか心
- 不届の防犯 不滅の郷土
- 出る時 寝る時 不届の注意
- 警民一心 完全防犯
- 罪で汚すな 被害で泣くな
- 挙つて防犯 幸田のほこり
- 防犯は誰でも できる御奉公
- 鍵で防ぐより 心で防げ

増産百語

天命十訓 (七)

天命、当時畑山林を買い受けたる所、即ち天性自然なり。天然自然の買い受けたる天の冥加、大高にしたがつて、早春より普請再築、肥灰持ち運び、すきかき耕し等の手くばり、夏はまきしつけ、草とり、水廻り、秋は刈取り、ほし返し、こきまとい、冬は御年貢、諸役高掛り等、真先きに相納め、小前の手本にも相成る儀、常々心がけ、第一父母に孝養をいたし、妻子養風を養い、猶また御田地買ひ受けたる天の冥加をわきまえ、貧者、売り人、その外困窮難澁をよない(助け)憐みを加う。これを道という。

(二宮尊徳翁の言葉)

人口動態 (5月分)

出生	13	男女	49	累計	54
死亡	7	男女	43		21
死産	0				23
婚姻	16				0
離婚	1				52
					2

衛生

- たやすい 予防で たやせる病気を
- 明日といわずに 今すぐ消毒
- 化粧より 先ず清浄な身だしなみ
- まめな洗濯 たつしやな一家
- キレイなおテデオイシイゴハン
- 健康の扉を開け保健所で
- 絶えぬ注意で 絶せる病気を
- 鍛えよ勝つよ 歯と身体
- 守れ衛生 忘るな予防
- 健康幸田 予防で築け

健康

- 見栄をはらずに 胸をはれ
- 汗で磨いて 腸で染めよ
- 輝く健康 尊い資源
- ラジオで鍛えよ 御国の体
- ラジオ体操する子は元気
- 家族一心 体育向上
- 伸びゆく健康 輝く幸田
- 手軽な消毒 手近に石鹸
- 先ず洗へ二万の町民四万の手
- 社会体育 幸田の誇り

糞便上に重ねた各種ちり紙からの大腸菌検出状況

種類	名称	枚数	
		三三	八六三三
婦人化粧紙	雪	+	+
人化粧紙	百合	+	+
用紙	吉野桜	+	+
ちり紙	白菊	+	+
り紙	白菊	+	+
紙	花奴	+	+
庭用紙	若鮎	+	+
家庭用紙	カーネーション	+	+
ちり紙	八重桜	+	+
ちり紙	ひざご	+	+
り紙	鳥	+	+
紙	鳥	+	+
トイレット紙	富士	+	+
新聞紙	富士	+	+

検出方法

普通便二五gをシャーレにとり、二平方大の各種ちり紙三二枚を便上に重ね、セロハン紙をしき、その上に五〇gの分銅を置き約一〇秒後紙をとり出し夫々二枚目四枚目八枚目一六枚目の紙を滅菌生理的食塩水二〇cc中に投じた、その二ccについてLBBLB培地塩藤培地を使用し大腸菌群検出した。

